

宮城県感染症発生動向調査情報

令和06年04月18日発行

2024.4.8 ~ 2024.4.14 - 第15週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病		保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)	
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
インフルエンザ/COVID-19定点	インフルエンザ	45 6.43	45 2.81	57 6.33	47 4.70		179 4.07	373 4.19	22,976
	新型コロナウイルス感染症	68 9.71	81 5.06	98 10.89	80 8.00	33 11.00	236 5.36	596 6.70	16,464
小児科定点	RSウイルス感染症		8 0.80	1 0.20	4 0.67		26 0.96	39 0.74	239
	咽頭結膜熱		9 0.90		12 2.00		13 0.48	34 0.64	1,136
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18 4.50	35 3.50	8 1.60	18 3.00	2 2.00	91 3.37	172 3.25	2,871
	感染性胃腸炎	15 3.75	23 2.30	18 3.60	37 6.17	3 3.00	136 5.04	232 4.38	3,951
	水痘	1 0.25					4 0.15	5 0.09	115
	手足口病	1 0.25	1 0.10		1 0.17		1 0.04	4 0.08	35
	伝染性紅斑							0 0.00	7
	突発性発しん			1 0.20	1 0.17	2 2.00	8 0.30	12 0.23	190
	ヘルパンギーナ							0 0.00	7
	流行性耳下腺炎						3 0.11	3 0.06	24
眼科定点	急性出血性結膜炎						0 0.00	0	
	流行性角結膜炎		1 0.33				1 0.17	2 0.17	36
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)						0 0.00	1	
	クラミア肺炎(オウム病は除く)						0 0.00	1	
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						0 0.00	2	
	マイコプラズマ肺炎						0 0.00	3	
	無菌性髄膜炎						0 0.00	3	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)					2			
	川崎病			1		1			
	不明発疹症					1			

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

※ 今週の新型コロナウイルス感染症による入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)49例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(確定例)

石巻管内 女性1名
仙台管内 男性2名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内 女性1名(O26)

4類感染症: E型肝炎

仙台管内 男性1名
レジオネラ症
仙台管内 男性1名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 女性1名
侵袭性肺炎球菌感染症
仙台管内 女性1名
梅毒
塩釜管内 男性1名(第14週)
仙台管内 男性1名、女性3名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南管内で警報レベルを継続中です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課
電話 022-211-2632(新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ)

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

気仙沼管内 第13週採取分 インフルエンザウイルスB(ヒクアリア系統) 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告		
	確定	第12週採取分	第13週採取分
		(3.18~3.24)	(3.25~3.31)
		(4.1~4.7)	
インフルエンザウイルスB型(ヒクアリア系統)	2件	4件	0件
RSウイルス	0件	1件	1件
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	2件
アデノウイルス	1件	0件	0件

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】

解析結果はありません。

前週までの結果は下記URLを参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

4. 今週のコメント

【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症】

インフルエンザの1定点医療機関当たりの患者報告数が、警報継続基準値10人を2週連続で下回ったことなどにより、警報が解除されました。

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症ともに、患者数が減少していますが、今後も人の動きが活発になり感染機会の増加が懸念されるので、基本的感染対策につとめてください。

【梅毒】

梅毒の患者報告数は年々、増加傾向にあります。第15週まで38名と昨年と同程度の数値です。梅毒は梅毒トレポレマによる感染症で、感染経路の多くは性的接触によるものです。生殖器にしこりやただれ等の症状が出るほか、妊婦の場合は流産等の恐れもあるので感染が疑われる場合には早期に医師の診断、治療を受けてください。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

